

旧町の記念誌を販売中

問合せ先 広報統計課 ☎32-1111

「広報みすみ」の創刊号からすべてを収録
合併50周年記念
平成の三角町
広報みすみ縮刷版
(全三巻)
税込価格 **1,000円**
購入先 三角支所総務課
☎ 53-1111



ここ10年間の「広報まつばせ」を収録
合併50周年記念
広報まつばせ
縮刷版(第2集)
税込価格 **2,000円**
購入先 松橋市民センター 総務課
☎ 32-1111



豊野町の歴史や昔懐かしい写真「広報とよの」の縮刷版を二冊に
豊野町115周年記念誌
「豊野115年館」
税込価格 **2,000円**
購入先 豊野支所総務課
☎ 45-2111

健康なまちづくりは食生活から 宇城市食生活改善推進員協議会が発足

5月19日、宇城市食生活改善推進員協議会の設立総会が宇城市役所本庁舎で開かれました。

食生活改善推進員210人中、出席者115人、委任状による代理出席62人で、執行部が総会の有効成立を宣言。来賓の阿曾田清市長が「最大の幸せをつくるのは食生活から。正しい食生活をしていくための運動を地域で展開してほしい」とあいさつしました。

議長に選ばれた高森曙美さんが議事を進行。17年度事業計画や予算、会則、役員選出について、原案どおり承認しました。

引き続き、新役員の紹介があり、代表して豊田節子会長（豊野町下郷）が「宇城市は今スタートしたばかり。心身共に健康が第一であり、食生活改善推進協議会の役割はますます意義深いものとなっている。今までの経験を生かしながら、5町がしっかりと手をつなぎ、心を合わせて、仲良く元気なまちにしていきたいと思います」とあいさつしました。

そして、スローガン採択の後、豊田会長から旧5町を支部とする各支部長への委嘱状の交付がなされました。

なお、総会終了後は研修会を開催。宇城保健所の猿渡ヒサ子保健予防課長が「ヘルスマイトの役割～食育を通して考える～」と題して講演がありました。



新役員紹介であいさつをする豊田節子会長（右端）



研修会で講演する宇城保健所の猿渡ヒサ子保健予防課長

市議会臨時会で助役と収入役が決定

平成17年第2回市議会臨時会が5月16日に開かれ、助役に旧小川町収入役の飯田精也氏（65歳・小川町西北小川）、収入役に元JA熊本うき松橋統括支所長の坂梨博幸氏（55歳・松橋町曲野）の選任に同意がありました。

また、指定金融機関には、熊本宇城農業協同組合とすることに決まりました。

人間ムツゴロウが登場! 干潟どろんどろん観察会

5月7日、県環境センター（水俣市）主催の「干潟どろんどろん観察会」が、不知火町長崎の桂原公園沿いの干潟で行われました。

今年で10回目になるこの観察会は、県内各地から、親子連れなど54人が参加。まず桂原公民館で学習会があり、熊本大学沿岸域環境科学教育センターの逸見泰久教授が干潟の仕組みや生き物について解説、干潟再生の大切さを話しました。

学習会後の観察会では、干潟に入り、ムツゴロウやシオマネキ（カニ）などの生物を観察。参加者は、全身泥だらけになりました。観察を楽しんでいました。



人間ムツゴロウ? になってはしゃぐ子どもたち

郷土の民話や伝説を語り継ごう 「松橋のむかし話第3集」を出版

このほど、「松橋民話昔話の会」（中山千鶴子代表）が「松橋のむかし話第3集」を自費出版しました。

既に発行している第1集・第2集に続くもので、「寄田の底井樋」や「二つ並んだ火の玉」など10話を掲載。1部300円で販売しています。

事務局の守田信一さんは、「忘れられつつある郷土の民話を、ぜひ学校や地域、家庭などで子どもたちに語り継いでもらいたい」と話していました。

なお、宇城市役所商工観光課や松橋公民館に見本があります。



お問い合わせは事務局の守田信一さん
☎32-1538まで

ラ・ガールが6周年 創業祭で各種イベントを開催

5月14日・15日の両日、三角フィッシャーマンズワーフ「ラ・ガール」で6周年記念創業祭が開催されました。

オープニングでは、出荷協議会代表の中山弘幸さんのあいさつの後、龍驤太鼓保存会が6周年を祝う演奏を披露。出店者らによる紅白もち投げが行われ、テナント前広場はこの日一番のにぎわいとなりました。

また2日目は演歌発表会のほか、地元のハワイアン愛好会「ホキ中田とパームアイランダーズ」によるハワイアン生演奏とフラダンスショーが行われました。

期間中1,000円以上の買い物客が参加できる抽選会で、見事コチョコウランを当てた福岡県久留米市の内田旬郎さん（77）・かほるさん（70）ご夫婦は、「結婚45年のお祝いに旅行に来ました。海が好きなので毎年フェリーで来ますが、今日はいいい記念になりました」と満面の笑みで喜びを語りました。



一番の盛り上がりを見せた紅白もち投げ

フォルクローレコンサート

5月3日、ラ・ガールでオープン6周年を記念して、創価学会熊本県音楽隊フォルクローレアンサンブルによるコンサートが行われました。

ペルーの民族衣装ボンチョを身にまとった演奏者たちが出演。ケーナやギター、サンポーニャといった南米の民族楽器を使い、「コンドルは飛んでゆく」など全13曲を披露しました。



ペルーの民族衣装ボンチョを身にまとった演奏者たちが出演。ケーナやギター、サンポーニャといった南米の民族楽器を使い、「コンドルは飛んでゆく」など全13曲を披露しました。